

Voice



損得勘定ではない 仕事にやりがい

もともと学生時代から音楽が好きで、音響の仕事をしていました。一方で、海外にも興味があり、ちょうど募集のあった青年海外協力隊のニジェールの音響隊員として参加。任期終了後、再度協力隊の仕事でニジェールに渡航したところから教育プロジェクトに関わるようになりました。

アフリカでの活動中に、当社の社員や深井代表に話を聞く機会もあり、入社を決めました。国際協力の仕事をしている人に共通する、損得でないところで仕事をする姿勢を共有できるのがうれしいです。

国際協りに携わりたい方には、リアルな体験をしてほしいです。首都と田舎を見るのではまったく違います。上流社会である首都からの視点だと、いわゆる「その国の本当の姿」が見えづらくなると思います。リアルな部分を知っていることが、その後、想像力を発揮することにつながってくるはずですよ。

岩田 守雄さん
事業部第三課長、
開発コンサルタント
(教育分野)

アースアンドヒューマン
コーポレーションに入社

JICAのボランティア
調整員としてセネガルに
赴任

協力隊グループ派遣
リーダーとして
ニジェール再訪

青年海外協力隊員
としてニジェールに赴任

音響の仕事に従事

岡山大学経済学部
卒業

再開を待ち続けた 教育プロジェクト

マリ共和国で国際協力機構（JICA）の「みんなの学校プロジェクト」を担当しています。住民参加を通じて子どもの学習環境を改善し、万人への教育（EFA）の達成を目指すプロジェクトです。

この案件のスタートは2011年でしたが、開始半年後に起きたクーデターのため、案件が中断してしまいました。でも、マリ共和国の将来にとって重要な案件だと信じ待ち続けて、やっと2年ほど前に再開。現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、カウンターパートとローカルNGOが現地で取り組むプロジェクト活動を日本からリモートで支援しています。

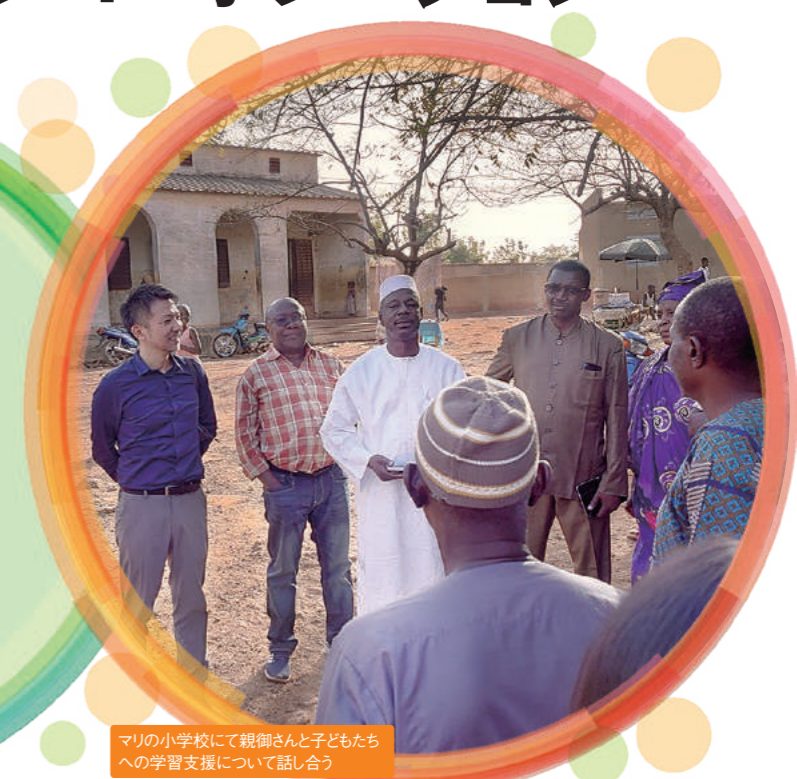
難しいと感じる点は、教育案件は特に長期的に取り組んでいく必要があるため、目標達成の出来で測れるほど単純でもないということ。その時の国の方向性によって左右されてしまいがちな分野ですが、重要性を忘れていてもらえないように、私も現地の人たちと共に踏ん張っています。



マリの教育行政官や自治体、住民代表者への研修にて

Work

設立：1996年
資本金：1,000万円
従業員：20人(2020年4月現在)
本社：東京都町田市
事業分野：農業・農村開発、環境・気候変動、
水と衛生、保健・医療、貧困削減、教育、
ジェンダー、民間セクター
募集職種：開発コンサルタント
募集人数：不定期に募集
住所：〒194-0041
東京都町田市玉川学園8-3-23
TEL：042-710-7661
Mail：ehcjapan@ehcjp.com
HP：http://sites.ehcjp.com/ehcjp/



マリの小学校にて親御さんと子どもたちへの学習支援について話し合う

「地域住民の視点」を 大切にする企業

アースアンドヒューマンコーポレーションは、西アフリカ地域を中心に、農業、水、環境、コミュニティ開発、教育、保健などの分野に高い専門性を持つ開発コンサルタント企業。アフリカ地域の他に中近東やアジア、中南米地域の案件にも携わるなど、世界中に活躍の場を広げている。

また、政府開発援助(ODA)案件への参画に加えて、民間企業との連携事業にも踏み出し、新たなビジネスの可能性の発掘にも注力している。

同社の特徴は、深井善雄代表取締役が「ミドルタウン・ミドルアップ」という考えを打ち出している点だ。社員が地域の末端まで入り込み、住民の本音から見えてくるニーズをくみ上げると同時に、相手国政府やドナーの政策方針を把握して、双方のマッチングを図る。その上で資金不足があれば、新しいドナーにつ

前向きな姿勢を持てる 人に合う仕事

ないでいく手法を取っている。設立当初、深井代表をはじめ、西アフリカ諸国で活躍した青年海外協力隊出身者が集まった。現在も社員の半数以上が協力隊経験者であり、地域住民の視点を大切にする社風が引き継がれている。

採用に当たっては「途上国において2年以上の業務経験があること」「TOEIC720点相当以上、もしくは仏語検定2級相当以上の語学力があること」の二つの条件が設けられている。また、業務には専門性も必要となるため、大学院修士課程修了以上の学歴を有することが望ましい。しかし、入社時にコンサルタントに必要な資質をすべて備えていなくとも、業務に対して前向きな姿勢を持つことが重視されている。定期募集は行っておらず、募集情報はウェブサイトへの掲載となる。